施策評価シート　（評価対象年度：平成30年度）

1.基本的事項

①施策名〔施策小〕	2 広域消防の推進	②施策番号	1405
③まちづくりの方向〔政策(章)〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④基本施策〔施策大(節)〕	1 災害や事故に対してその被害を最小化できる安全なまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	2 消防・救急体制の充実		
⑥担当部名	⑦担当課名		
総合政策部	危機管理課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

①施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	泉州南消防組合及び泉南市民(泉南市内在勤、在学者を含む)
②意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	市民の生命及び財産を守るため、泉州南消防組合の消防・救急体制のを充実させる。
③環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	自然や社会環境の変化により複雑・多様化する災害や事故等に対応するため、消防庁から消防行政運営の効率化と基盤強化等を目的にH18に「市町村の消防広域化に関する基本方針」が示され、大阪府においても消防の広域化についての検討が行われた。本市においても3市3町により、H25.4月に泉州南消防組合が設立された。

〔2〕施策指標及び推移

	施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
①	泉南消防署消防車両台数	台	消防特殊車両の適正な配置により複雑・多様化する災害や事故等への効果的な現場対応が可能となる。
	計算式		
②			
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
①	泉南消防署消防車両台数	台	目標値						
			実績値	15	15	15	—	—	
			達成率						
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果			重点化
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方向性		
1	泉州南消防組合参画事業	泉南消防署車両台数	台	15	15	15	824,188	902,680	858,406	B	イ	c	◎
2	消防施設整備事業債負担金事業	負担額	千円	15,006	15,006	10,494	15,488	15,817	11,305	A	ウ		○
3													
4													
5													
6													
7													
8													
計	2						839,676	918,497	869,711				

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること（目的）は、上位施策（施策中）の達成にどのように貢献しますか。 （施策所管課等としての考えをお示しください。）	泉州南消防組合の設立により、大規模災害や多種多様な事故等に対して、スケールメリットを活かした迅速かつ適正な救援、救助活動が行うことができる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 （2〔2〕の表の数値の推移から分析できることをお示しください。）	消防特殊車両の適正な配置により、多種多様な災害や事故等への効果的な現場対応が可能となる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 （施策所管課等としての考え（理想と現実）をお示しください。）	泉州南消防組合における消防業務全般については、構成団体（3市3町）の負担金により運営されている。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 （2〔3〕を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示しください。）	泉州南消防組合規約等に基づき適正に実施。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 （2〔3〕において、◎、○、▲とした理由をお示しください。）	さらに効率的な消防運営により、行財政改革等のコスト削減が必要である。

4. 一次評価（所管課評価）

	評価（A～D）	課題等	
一次評価	B	泉州南消防組合の構成団体（3市3町）の負担金の負担割合については、組合設立後3年から5年をめどに見直しを行うこととなっており、現在、構成市町により負担率の見直し作業を行っている。	A：施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B：施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C：施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D：施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 （すぐに取り組む改善案）	泉州南消防組合の構成市町の負担割合を見直すための検討の場として、「泉州南消防組合あり方会議」を発足させ、分科会、幹事会、正副管理者会議により、負担率の見直しについて考え方や基準について協議中。
短期的対応 （1、2年のうちに取り組む改善案）	泉州南消防組合設立時の構成市町（3市3町）の見直しについての協議を完結し、新しい負担割合を適用する。
中長期的対応 （3～5年をめどに取り組む改善案）	泉州南消防組合の適正な署所、人員の配置及び行財政改革の推進により、予算の効率化を行う。

6. 二次評価（行革・財産活用室評価）

	評価（A～D）	課題等	
二次評価	B	今後の負担割合の見直しとともに、継続して広域消防としてののメリットを活かした消防施設、車両、設備、人員配置への取組を計画的に進められたい。	A：施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B：施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C：施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D：施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある